

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Foster		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年3月13日		～ 2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様ひとり一人の発達段階や特性・得意・苦手な部分を把握し、個別支援計画に基づいた支援を行い、個々のニーズに応じた支援を提供できていること	アセスメントや日々の記録をもとに、子どもの特性や課題を整理し、支援内容や課題の難易度を個々に合わせて調整している。スモールステップで課題設定を行い、成功体験を積み重ねられるよう支援方法を工夫している	職員間でのケース検討や支援方法の共有をさらに充実させ、支援の質の向上と支援方法の統一ができるようにする。また研修等に参加し、専門性を高め、よりここに特性に応じた支援が行えるよう努めていく
2	お子様が安心して過ごせる環境を整え、個別支援だけでなく、集団活動を通して、社会性やコミュニケーション力を育てる支援を行っている	活動の流れを視覚的に示すなど、見通しを持てる環境づくりを行っている。また集団活動ではルールや役割を分かりやすく伝え、成功体験や達成感を感じられるよう活動内容や支援方法を工夫している	お子様同士の関わりやコミュニケーションを育てる活動内容をさらに充実させ、社会性や協調性を育てる支援を充実させていく。また環境設定などの工夫についても継続して見直しを行っていく。
3	保護者との情報共有や相談支援を大切に、家庭と連携しながらお子様の成長を見守ることができている	送迎時の情報共有やラインでのその日の活動の様子・面談等を通してお子様の様子や成長を丁寧に伝えている。また、保護者の困りごとや不安に寄り添い、家庭でも取り組める関わり方を一緒に考えるなど、相談しやすい関係作りを意識している	保護者への情報提供や相談の機会をさらに充実させ、家庭と事業所が同じ方向で子供を支援できるよう連携体制を教科していく。また、保護者へのペアレントトレーニングも引き続き開催していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が情報交換や交流を行う機会を十分に設けることができていない	日程調整の難しさ、送迎時のみの関わりが中心となっているため、保護者同士が交流する機会を設けることができていないことが要因として考えられる。また事業所として交流の場を企画・運営する時間の確保が難しいことも理由の一つとなっている。	保護者会や交流会、勉強会等の開催を検討し、保護者同士が情報交換や交流できる機会を設けていく。
2	職員や専門性向上のための外部研修や内部研修の機会が十分に確保できていない	日々の支援業務が中心となり、研修参加のための時間調整や人員配置が難しいことが原因と考えられる。また研修情報の収集や計画的な研修体制が十分に整っていないことも要因の一つ	外部研修の情報収集を行い、計画的に研修へ参加できる体制を整えていく。また研修に参加した職員が内容を共有する内部研修や勉強会を実施し、事業所全体の専門性向上につなげる
3	定期的な通信の発行やホームページ・SNS等を活用した情報発信が十分に行えておらず、活動内容や行事予定、事業所の取組等を保護者へ伝えきれていない。	情報発信の時間の確保が難し事や、担当者が明確になっていないことも要因の一つ	担当者決め、定期的に行うことができる環境を整えるよう努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Foster

公表日 年月日

利用児童数

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2	1		・フリータイムで運動系の遊びができな いので、部屋の狭さを感じます。 ・近所の公園なども使いながらうまく遊 んでくださっていると思う ・清潔で危険物をきちんと管理されてま す ・トランポリンも出来るので喜んでいま す。	嬉しいお言葉、貴重なご意見をありが とうございます。気候のいい時には公園に 行くなど体をたくさん動かせる機会を持 てるようにしております。リズム運動の 時の活動の時には、スペースを有効活用 し、安全に十分配慮しながら取り組ませ ていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			2	・個別対応もできるほど手厚く見てくだ さっていると思う(職員様が多いからで はなく、意識してくださっているからこ そだと思う) ・急に伺った時でも人数がいっぱいやる ので安心です。	嬉しいお言葉をありがとうございます。 お子様の視線の動きや、小さな合図に気 づくことができるよう職員を配置させて いただいております。今後もそのように 努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1			見学に行った際、子供たちが自由に遊べ ていた	嬉しいお言葉をありがとうございます。 お子様が活動しやすいように環境作りを させていただいております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				1	
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12	2			親の希望や子供の希望を汲み取ってくだ さり、求めている支援を共に進めてくだ さっている	嬉しいお言葉をありがとうございます。 お子様の特性や、その時の体調などに配 慮しながら関わりを進めさせていただい
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	11	1		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されて いると思いますか。	13	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	13				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				2	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	10	3	1		・集団活動で毎月「シアター」の日があ りますが、観るだけで終わっているた め、自宅でテレビを観ているのと変わら ないように感じます。 ・子供の求めていることに合わせてくだ さっている	貴重なご意見をありがとうございます。 その日のお子様の様子を見ながら、鑑賞 後の話し合いの場で意見を言う練習や、 他の活動に変えるなど検討してまいり ます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	3	1	9	1	人付き合いを嫌うため、様子を見ながら 行ってくださっていると思う	ご意見をありがとうございます。お子様 の特性に合わせながらかわりを検討し てまいりたいと思います。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	13	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	12			2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	11	1		2	ご説明を受けていますが参加できていま せん。	ご意見をありがとうございます。次年度 も引き続き皆様にご参加しやすい時間 を選択しながら進めて参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていますか。	13	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			子供だけでなく親の表情まで気にしてく ださって感謝です。	嬉しいお言葉をありがとうございます。 皆様にとって安心できる施設でいろ う努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1			大切にいただいている実感があります	嬉しいお言葉をありがとうございます。 お子様の特性や保護者様の思いに寄り添 うことを一番大切に考えて参りたいと思

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	3	4	兄弟は別事業所に行っているが、兄弟関係など気にしてサポートくださっていると思う	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もペアレントトレーニングやイベントなどで交流していただける場を整えてまいりたいと思います
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		1	・困ったときに相談できることを大変心強く思っています ・いつも気にかけてくださり、対応が早いのでありがたいです。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も保護者様のお気持ちに寄り添いながらご質問や相談等に対応してまいりたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	1			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		6	訓練まではその時に会えないのでわかりませんが説明はありました。	ご意見をありがとうございます。今後も引き続き、周知を徹底し、研修の実施、訓練の実施を行ってまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		6	訓練まではわかりませんが、子供を2名見てもらっていますが不満等ありません。	嬉しいお言葉をありがとうございます。1年に2回避難訓練を実施させていただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2		3		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	3			・フォスターの存在に感謝します。息子の抛り所です。 ・楽しく通所しています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もお子様ひとり一人が安心してご利用していただける環境を整えてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			・毎週行くのを楽しみにしています。 ・本当に楽しみに毎週行っています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様の「やりたい」「できた」の気持ちを一番大切に取り組めるよう努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2			・子供が学年が上がると、活動内容に物足りなさを感じる時があるようです。 ・感謝しかありません。 ・大変満足しています。	ご意見・嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様の興味や成長に合わせた課題の選別に力を入れてまいります。今後とも満足いただけるよう努めてまいります

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		Foster				公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	活動内容により、スペースを有効活用できるよう配慮する。	・スペースが手狭に感じる ・遊びの内容によっては狭いと感じることがある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	対応済	トイレや手洗い場のサインが必要			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	各研修を実施している。職員それぞれの意見を募り学びたい課題についての研修会を開催する	少ないと感じます			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6						

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			